

『100年スーツの仕様』

『100年後も輝き続ける 時代を超えるスーツ』これがメインコンセプト、トレンドは追いつけ過ぎず基本的には非常にクラシックな仕様になっています。全てジャケット、ベスト、スラックスの『スリーピース』にてお仕立てさせていただきます。

ジャケット *jacket*



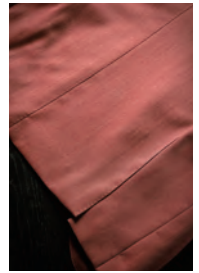
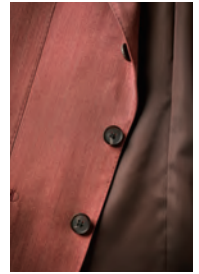
襟部分 スーツの顔となる襟部分は、襟の太さが少し太めでゴージラインと呼ばれる襟の高さもやや低めに設定しています。襟の裏には『フラワーリング』と呼ばれるお花を引っ掛けるループをつけています。



袖部分 釦4つを重ねてつける仕様です。4個目のボタンホールが開いていないのは、スーツを受け継ぐ際に袖の調整が必要な場合を考え、ボタンを一番前に移動できるようにするためです。



デザイン 裏部分は『本会場仕立て』と呼ばれる表地を裏地部分にまで使用した贅沢な作り、またデザインはシングル段返り3つボタン、サイドベンツになっています。



スラックス *slacks*



脇部分 ベルトではなくサズベンダーで留めるタイプ、ベルトループはついておらず、この様な脇尾錠が標準装備されています。また前立て部分もファスナーではなくこの様なボタンフライ仕様になります。



デザイン アウトタックの1タック、持ち出し部分が長く、裾の仕様はダブル。折り返し部分にもこの様に『ハンドステッチ』が施されています。



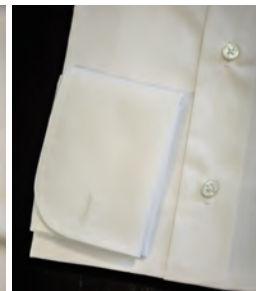
ベスト *vest*



シングル、ダブルの2つのデザインからお選び頂けます。

シャツ *shirt*

classicoに合わせる『専用シャツ』も今回同時に開発しました。こちらのシャツはスーツの美しさをより際立たせる、美しい襟型とシルエットにてお仕立てをさせていただきます。高級感溢れる光沢ある貝釦が付き、カフリンクスを挿す『ダブルカフス』仕様になっています。



『100年スーツの生地』

classicoで使用する生地は、基本的には『英国生地』になります。英国の生地はイタリアの生地 비해、非常に堅牢で丈夫なのが特徴です。本場ナポリにおいても、英国生地を使用し、ナポリ仕立てで仕立てるのはステータスの証でもあるのです。長期間の仕様に耐えることの出来る、丈夫で尚且つ品質が高く高級な英国生地を厳選し、お仕立てさせていただきます。

